



▲講師の話を楽しみながら、笑顔で運動する参加者の皆さん

登米で介護予防フォローアップ事業 笑顔で元気に楽しいひととき

「元気とよま講座」と「からだ元気アップ教室」の参加者を対象とした介護予防フォローアップ事業が2月13日、登米老人福祉センターで開催されました。これは、介護予防に向けた取り組みを各事業の終了後も継続して行い、健康な体を維持してもらおうと開催されたものです。事業では、講師から「運動を確実にできるかどうかよりも、しようとする気持ちが大事」と話があり、参加者はうなずきながら聞いていました。講師の話に会場は終始笑い声が絶えず、参加者は楽しみながら健康づくりを行っていました。

中田で中田町新春囲碁将棋大会 盤上で繰り広げられる熱戦

第34回中田町新春囲碁将棋大会（中田町囲碁・将棋愛好会主催）が2月11日、中田老人福祉センターで開催されました。大会には、市内はもとより市外から幅広い年齢層にわたり、囲碁の部27人、将棋の部30人の愛好者が参加しました。会場では、参加者が実力ごとに囲碁3クラス、将棋2クラスに分かれて対局し、日ごろ鍛えた腕を試していました。中には何度も形勢の入れ替わる対局などもみられ、多いに盛り上がりみせた大会となりました。



▲参加者は、対戦を楽しみながらも一手一手に集中していました



▲わら装束に身を包んだ男たちが、各家に水を掛けて周りました

東和で冬の伝統行事「米川の水かぶり」 勇壮な姿と水しぶきに歓声

国の重要無形民俗文化財に指定されている「米川の水かぶり」が、2月の初午の日にあたる2月6日に行われました。これは米川五日町地区に伝わる伝統の火伏せ行事で、地区内に住む男たちがわら装束に身を包み、家の前に用意された水を屋根にかけて歩きます。また、男たちが身に付けているわらを抜き取り、屋根に乗せると火伏せのお守りになるとも言われ、追いかけてわらを抜き取るようとする子どもたちや男たちの姿を写真に納めようとするカメラマンなどが沿道にあふれていました。

津山横山不動尊で節分豆まき 新しい年の幸福を祈願

節分豆まき（横山6・7区集会所運営委員会主催）が2月1日、横山不動尊で開催され、羽織はかま姿の関係者が「福は内、鬼は外」の掛け声とともに豆をまきました。まかれた豆には「福豆」が入っていて、拾った人には住職から「敬・和顔愛護」と刻まれた福升が配られました。この文字には「人を敬い、接するときには和やかな笑顔、思いやりの言葉で伝えてほしい」という願いが込められています。豆まきに参加した人たちは、多くの福が届くようにと、豆袋と福升を大切に持ち帰りました。



▲横山不動尊の境内には福を求めて多くの人々が詰め掛けました



▲思い思いのデザインを描いてオリジナルのガラスを制作しました

迫でガラス工芸体験教室 趣向を凝らしてガラスを制作

細かい砂を圧縮空気で吹き付けるサンドブラストという手法を使いデザインを彫刻する、ガラス工芸体験教室が1月21日、迫勤労青少年ホームで開催されました。教室には迫地区の青少年らが参加し、講師の指導を受けながら、ガラスのコップに貼り付けた下絵をカッターで切り抜いた後、サンドブラスト機で砂を吹き付け、趣向を凝らしたオリジナルの作品を制作しました。受講者からは「初めてだったが、思っていた以上に良くできた」「作業が細かくて難しかったが、面白かった」といった感想が聞かれました。

石越で健康アップ・笑顔アップ教室 多彩な運動で元気な笑顔を！

運動する機会が減り、運動不足になりがちなこの季節。家庭でも気軽に取り組める運動や体操で健康な体づくりに役立てようと、1月15日から2月27日までの7回にわたり「健康アップ・笑顔アップ教室」（石越公民館・いしこしENJOYスポーツクラブ共催）が石越公民館で開催されました。教室では太極拳やボールなどを使った3B体操、ヨガ教室、レクリエーションなどの多彩なコースが用意され、参加した皆さんはそれぞれの運動を楽しみながら、心地よい汗を流していました。



▲ゆったりとした運動でしっかりと体を動かす太極拳教室